

第30次長期経営計画

(2015年4月～2018年3月)

地域活力創造銀行への変革



2. 経営理念と長期ビジョン

経営理念

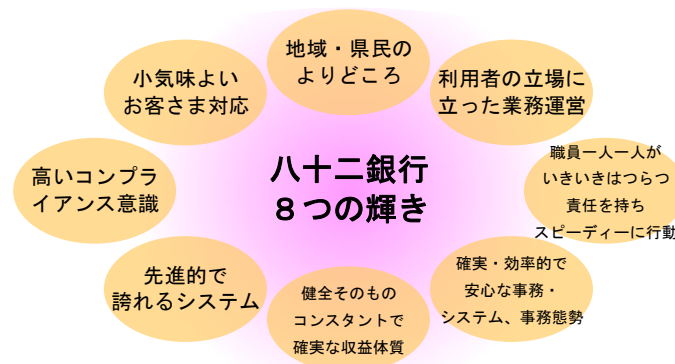
「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」

当行は、創業以来、健全経営を堅持しつつ地元の発展に貢献していくことを基本方針としてきた。昭和43年に現本店が完成したことを機に、昭和43～45年の長期経営計画策定に際して、これを「経営理念」として明文化した。

八十二銀行のありたい姿（長期ビジョン）

「日本の真ん中で輝いている銀行」

「8つの輝き」



平成19年にスタートした第27次長期経営計画において、経営理念を踏まえ、当行の長期ビジョンとして「日本の真ん中で輝いている銀行」をありたい姿と定め、総合的な企業価値の向上に取組み、永続的に発展する銀行を目指している。当行の輝く姿を、お客さま・地域・財務・組織風土などの視点から捉え、8つの輝きとして掲げている。

長期的経営指標

「ROE：5%以上」

長期経営計画の計画期間にかかわらず意識していく経営指標として掲げ、実現に向け長期的に取組んでいく。

3. 第30次長期経営計画

3年後の目指す経営指標

目標項目	目標値
当期純利益（単体）	200億円
連単倍率（当期純利益）	1.2倍
株主還元率	40%

テーマ

テーマ① 地域活力を創造する

テーマ② お客さま利便性を進化させる

テーマ③ 企業力を向上させる

3. 第30次長期経営計画

テーマ① 地域活力を創造する

主要施策	対応事項
地域産業競争力の強化	起業・創業支援 【長野県内創業支援先数:3年間で600先を目指す】
	企業誘致支援 【工場・研究所等の立地件数（企業誘致）:3年間で30件を目指す】
	次世代・成長産業育成支援（次世代、農業・6次化、医療福祉、環境、観光）
	事業承継・M&Aを活用した産業基盤維持・発展
	外部専門家を活用した課題解決支援
まちづくり・ひとづくりへの貢献	当行経営資源の有効活用（地域活性化スペースの提供等）
	官民協働による地域経済活性化支援
	移住・交流支援（信州ファン醸成）
	県内企業の人材創出支援

3. 第30次長期経営計画

テーマ② お客様ま利便性を進化させる

主要施策	対応事項
お客様ま接点の強化	非対面チャネルの機能強化
	店舗・営業体制の見直し
お客様ま対応力の向上	相談機能の強化
	お客様ま利便性を重視した事務手続きの見直し

テーマ③ 企業力を向上させる

主要施策	対応事項
収益源の多様化	グループ会社を含めた資産運用ビジネスの強化
	海外拠点の機能強化
	異分野進出・新事業展開（グループ会社含む）
環境経営の深化	環境保全活動の強化 【温室効果ガス排出量10%削減（2010年度比）を目指す】
従業員の活躍フィールド拡大	多様な能力・価値観・発想を持った人材の育成と活躍ができる環境づくり 【女性管理職数40%増加（2015.4.1比）を目指す】 <small>（参考）2017年度末女性管理職比率は15%程度</small>

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意下さい。

